

「オープン学生セッション」 Q & A

応募について

Q1 非会員でも応募できますか。

A1 「オープン学生セッション」は非会員でも応募できます。

Q2 どのような形態で発表するのでしょうか。

A2 学会 HP 掲載の「[発表形態](#)」をご覧ください。

Q3 応募にあたって必要になる情報はどのようなものでしょうか。

A3 学会 HP 掲載の「[応募要領](#)」をご覧ください。

Q4 海外の学生会員ですが、Google フォームに入れません。どうすればよいですか。

A4 対象・手法・内容等を記載した 400 字から 600 字の要旨を pdf ファイルにし、openstudentsession[at]gmail.com に直接お送りください（[at]を@に変更してください）。その際は氏名（共同発表者がいる場合はその氏名も）、大学名・所属、発表タイトルもお願いします。

Q5 グループでの発表応募もできますか。

A5 複数発表者での応募も可能ですが、発表者全員が当日登壇してプレゼン・質疑応答を担当することが必要です。したがって、当日登壇できないことがわかっている発表者がいる場合は、発表に応募することはできません。オープン学生セッションは、学生本人が研究・発表の経験を積む場であるため、全員で当日のプレゼン・質疑応答に臨み、今後の研究を進めていくための機会としていただきたいと思います。

➡Q7・Q12 もご参照ください。

Q6 1 人につきいくつの発表応募が可能ですか。

A6 2026 年度春季大会より、オープン学生セッションでは、発表者全員が当日登壇してプレゼン・質疑応答を担当することが必要となりました。したがってオープン学生セッションへの応募は、1 大会で 1 人 1 件に限られます。

Q7 3 人のグループで研究を進めていたのですが、そのうち 1 名が、発表当日の都合がつかないため欠席することが決まっています。残りの 2 名を発表者として応募することはできますか。

A7 不適切なオーサーシップであり、研究倫理に反すると考えられるため、応募は認められません。
➡Q12 もご参照ください。

Q8 予定採択数を超過した場合、どのように発表者が決まるのでしょうか。

A8 対面大会では、発表会場の収容人数の問題から、応募された発表のすべてを採択できない可能性があります。予定採択数を超過した場合、発表は抽選で決定します。

発表内容について

Q9 どのようなテーマで応募しても問題ないのでしょうか。

A9 日本語学会の発表ですので、通常の口頭発表やポスター発表と同様、「日本語を主要な対象とした多様なテーマの研究発表」に限られます。この範囲に収まらないテーマについては、ご発表をお断りする場合があります。

Q10 どれくらいのレベルであれば発表できますか。

A10 研究テーマ、研究課題（リサーチ・クエスション）があり、予備（パイロット）調査とその分析が済んでいれば可能です。研究準備発表ですので、研究を進めていくための情報を収集したい、研究の方向性や妥当性、調査方法や分析方法などのアドバイスがほしいという方は是非チャレンジしてみてください。

Q11 本学会や他の学会で、同様の内容で発表してもよいですか。

A11 オープン学生セッションでの発表を、質疑に基づいて発展させ、改めて日本語学会大会の口頭発表・ポスター発表で発表することは可能です。他学会・他研究会での発表の可否については、それぞれの学会・研究会の判断に従ってください。

なお、日本語学会と同じタイミングで、他の学会にて同じ内容の発表をすることは、二重発表と解されるおそれがあるのでお控えください。また、改めて発表される際には、オープン学生セッションの発表時に得たコメントをもとに内容の修正を行い、修正後の内容で本学会、他学会の口頭発表やポスター発表に改めてご応募されることをお勧めします。同時期に異なる内容の発表をされる際、また、修正後の内容を改めて応募する際には、タイトル等でその内容の異なりがわかるようにしておくことが望ましいでしょう。

➡Q12 もご参照ください。

Q12 研究倫理の確認では、どのようなことを確認されるのでしょうか。

A12 研究倫理違反にもさまざまなものがあります。特定不正行為とされる捏造・改ざん・盗用はもつてのほかですが、そのほかにも二重発表や不適切なオーサーシップ等に注意する必要があります。

同時期に同じ内容の発表を行うことは「二重発表」にあたり、オープン学生セッションにおいても認められません。例えば、本学会とその2週間前に行われる学会に、同時に、同内容で応募することは、二重発表と解釈される可能性があります。

また、オーサーシップも重要です。オーサーシップとは直接的には発表者として名前が挙がることですが、誰が研究に貢献し、責任を持つかを示す意味があります。その研究に貢献していない人は名前を挙げられるべきではありませんし、逆に、一定の貢献がある人はすべて発表者として名前を連ねることが必要です。学生と教員が合同で行った研究について、発表資格が「学生」

だからと、学生のみを発表者としてオープン学生セッションに応募することは「不適切なオーサーシップ」にあたると考えます。

そのほかにも、被調査者に過度な負担をかけて行われたことが明白なもの、著作権などの権利侵害が見られるものなどの例が考えられます。発表に際してはこれらの研究倫理違反があると懸念をもたれないように応募していただきたいと思います。

Q13 本発表を履歴書に書く場合「審査あり」と書いてよいですか。

A13 研究倫理が守られているかどうか、テーマが本学会に合うかどうかの確認はしておりますが、査読に相当する内容の審査はしておりません。したがって、「審査なし」の扱いになります。

ポスターの作成

Q14 ポスター発表のポスター作りに不安があります。

A14 大会実行委員会作成のテンプレート（[対面大会用](#)・[オンライン大会用](#)）を加工してお使いください。もちろん、ご自身でお作りいただいてもかまいません。

Q15 発表できることになった場合、提出物がありますか。

A15 「オープン学生セッション」ページ「[発表までの流れ](#)」をご参照ください。提出物等の具体的な期限は採択決定後改めて連絡します。

以上